



鉄道友の会 選定

2015年 島 秀雄記念優秀著作賞決定

- 単行本部門（2件） ※発行日順
 - ・ 和田 洋 「「阿房列車」の時代と鉄道」交通新聞社（2014）
 - ・ 西 裕之 「特撰 森林鉄道情景」講談社（2014）
- 定期刊行物部門（2件） ※発行日順
 - ・ 富井 規雄 「都市鉄道直通運転のダイヤを考える」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2014年6月号掲載）
 - ・ 岩成 政和 「戦後ディーゼル機関車発達史の論点、争点、疑問点」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2014年7月号掲載）
- 特別部門（1件）
 - ・ 生方 良雄 小田急電鉄に関する一連の著作

鉄道友の会(会長・須田 寛、会員約 3,200 名)は、島 秀雄記念優秀著作賞選考委員会(選考委員長・曾根 悟)による選考のもと、2015年島 秀雄記念優秀著作賞として、上記の単行本部門2件、定期刊行物部門2件、特別部門1件の合計5件を選定することに決定いたしました。

なお、贈呈式は、2015年10月を予定しています。

賞の趣旨、選定対象の解説、選定理由などについては、別紙をご覧ください。

2015年 島 秀雄記念優秀著作賞選定対象の解説・選定理由

■ 単行本部門（2件） ※発行日順

- ・ 和田 洋「阿房列車」の時代と鉄道」交通新聞社（2014）
- ・ 西 裕之「特撰 森林鉄道情景」講談社（2014）

■ 定期刊行物部門（2件） ※発行日順

- ・ 富井 規雄「都市鉄道直通運転のダイヤを考える」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2014年6月号掲載）
- ・ 岩成 政和「戦後ディーゼル機関車発達史の論点、争点、疑問点」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2014年7月号掲載）

■ 特別部門（1件）

- ・ 生方 良雄 小田急電鉄に関する一連の著作

■ 単行本部門

和田 洋「阿房列車」の時代と鉄道」交通新聞社（2014）

本書は、内田百閒の名著「阿房列車」シリーズを素材として、写真、車両形式図、当時の列車編成記録などを交えて趣味者の視線で考察し、昭和20年代の鉄道旅行について解説を加えた著作です。「阿房列車」シリーズの刊行からすでに半世紀以上が経過して鉄道旅行も大きく変化していますが、本書では「阿房列車」の描写が若い読者でも理解できるように丁寧に解説され、昭和20年代における国鉄職員の応対や乗客の様子を浮き彫りにしています。単に鉄道文学を解説しただけの類書が多い中で、これまでにない視点で「阿房列車」を解説し、文学と鉄道趣味を結び付けた好著として本賞にふさわしい著作として選定しました。

■ 単行本部門

西 裕之「特撰 森林鉄道情景」講談社（2014）

森林鉄道は、山林における木材の運搬などに用いられていた産業用の鉄道で、日本ではその大半が姿を消してしまいましたが、貴重な写真などを交えながら森林鉄道のかつての姿を紹介した作品です。著者はすでに『木曾谷の森林鉄道』（企画室ネコ／1987）をはじめとして森林鉄道に関する著作をいくつか出版してきた実績がありますが、本書では全国から30カ所の森林鉄道を選んで総論的に解説しています。「情景」というタイトル

が示すとおり、写真と図版を交えながら解説され、森林鉄道になじみの無い読者にもその概要を知ることができます。著者の長年にわたる研究成果が集大成された著書として、島 秀雄記念優秀著作賞にふさわしい作品として選定しました。

■ 定期刊行物部門

富井 規雄「都市鉄道直通運転のダイヤを考える」(電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2014年6月号掲載)

著者は、鉄道システム工学の専門家として、『鉄道ダイヤのつくりかた』(オーム社/2012)などいくつかの専門書や一般書を出版していますが、受賞作は鉄道輸送サービスでも特に重要な「運転整理」について、身近な実例を引きながら紹介した著作です。特に必要な図表をカラー印刷し、よりわかりやすい解説に配慮した点は高く評価されます。社会的にも関心が高い話題をとりあげ、事例を紹介するだけでなく、専門家による今後の旅客サービス向上のための提案なども盛り込まれたすぐれた著作であり、島 秀雄記念優秀著作賞にふさわしい作品として選定しました。

■ 定期刊行物部門

岩成 政和「戦後ディーゼル機関車発達史の論点、争点、疑問点」(電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2014年7月号掲載)

国鉄の車両技術史で、ディーゼル機関車の発達史は、さまざまな紆余曲折があったために十分な検証がなされているとは言い難く、開発者や現場などそれぞれの視点で語られていました。著者はこの点に注目して、DF50形、DD20形、DE10形、ロータリー除雪機などの個々の形式を取り上げ、ライセンスや事業所ごとのニーズの観点から、その論点や疑問点に言及しています。タイトルに「論点、争点、疑問点」とあるように、論点を指摘するにとどめていますが、未解明であった戦後のディーゼル機関車史に取り組み、これまで曖昧にされていた点について問題提起した意欲を評価し、島 秀雄記念優秀著作賞に選定しました。

■ 特別部門

生方 良雄 小田急電鉄に関する一連の著作

受賞者は、小田急電鉄の技術者、OBとして昭和30年代から鉄道雑誌

に小田急電鉄に関する記事を執筆し続け、単行本としても『日本の私鉄・小田急』[諸河久と共著]（保育社／1981）、『特殊鉄道とロープウェイ』（成山堂書店／1995）、『小田急ロマンスカー総覧』（大正出版／2005）などを手かげたベテランで、その蓄積は鉄道趣味者にとっての貴重な資料となっています。2014年においても、『小田急通勤型電車のあゆみ』[大沼一英との共著]（JTBパブリッシング）、『小田急今昔物語』（戎光祥出版）を出版しており、島 秀雄記念優秀著作賞の特別部門にふさわしい業績として選定しました。

島 秀雄記念優秀著作賞とは

島 秀雄記念優秀著作賞は、毎年1回、鉄道分野に関する優れた著作物または著作物に関わる功績を選定し、鉄道および鉄道文化の発展に寄与することを目的として、2008年に新設された賞です(今年が第8回目となります)。

賞の名称は、鉄道友の会初代会長で東海道新幹線の実現に功績のあった島 秀雄氏(1901～1998)が、会の発展に尽くされた功績を永久に記念し、後進にとって励みとなる賞にするため、ご遺族の了解をいただいて、そのお名前を冠することとしたものです。

賞の部門は、以下の通りです。

- 1) 単行本部門…………… 書籍の中から優秀な作品を選定します
- 2) 定期刊行物部門… 定期刊行物に掲載された著作物の中から優秀な作品を選定します。
- 3) 特別部門…………… 単行本や定期刊行物以外の著作物で選考委員会が特に認めるもの、または著作物の企画、複製、展示、頒布、その他著作物に関わる功績を選定します。

賞の候補は、前年(今年では2014年1月1日から同年12月31日まで)に発行された著作物(日付は、単行本、定期刊行物とも当該著作物に記載された年月日を基準)を対象としました。なお、著作者は、鉄道友の会会員に限りません。

賞の選考にあたって、鉄道友の会に島 秀雄記念優秀著作賞選考委員会を組織しました。賞のうち、単行本部門と定期刊行物部門は、鉄道友の会会員および選考委員会が指定する出版社が候補となる作品の推薦を行い、選考委員会を選定いたしました。また、特別部門の推薦および選定は、選考委員会が行いました。

なお、今回の島 秀雄記念優秀著作賞選考委員会は、鉄道関係の著作物に精通した鉄道友の会会員10名(委員長・曾根 悟)で構成しました。また、今回の候補の推薦は、2015年1月より推薦受付を開始し、2015年3月13日に締切り、単行本部門16作品、定期刊行物部門18作品が推薦されました。

添付資料一覧 (併せてご覧ください)

- ・鉄道友の会のご紹介
- ・過去の選定作品・対象一覧

本件につきましてのお問い合わせは、下記宛にお願いいたします。

〒102-0074 東京都千代田区九段南4丁目7-16 第五DMJビル3階 鉄道友の会(本部事務局) 担当:大庭、小野田 Tel. & Fax. 03-5215-0305 URL http://www.jrc.gr.jp/

<添付資料>

第1回（2008年）選定

■ 単行本部門

- ・ 齋藤 晃「蒸気機関車 200 年史」NTT 出版
- ・ 関田 克孝「のりもの絵本—木村貞男の世界—」フレーベル館

■ 定期刊行物部門

- ・ 江原 光昭「京成電軌の四輪単車を再考する」
（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2007年3月増刊号掲載）
- ・ 小西 純一「余部橋梁」
（交友社『鉄道ファン』2007年7月号／8月号掲載）
- ・ 名鉄資料館「知られざる名鉄電車史」
（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2007年7月号／8月号掲載）

■ 特別部門

- ・ 鉄道史資料保存会（会報「鉄道史料」の継続出版に対して）

第2回（2009年）選定

■ 単行本部門

- ・ 長船 友則「山陽鉄道物語」JTB パブリッシング
- ・ 湯口 徹「日本の蒸気動車」ネコ・パブリッシング
- ・ 河田 耕一「鉄道風景 30 題」機芸出版社

■ 定期刊行物部門

- ・ 澤内 一晃「東京市の静脈物流と私有貨車」
（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2008年1月増刊号掲載）

■ 特別部門

- ・ 田部井 康修「上州を走ったトラム 伊香保電車」東武博物館

第3回（2010年）選定

■ 単行本部門

- ・和久田 康雄 「日本の市内電車」（成山堂書店）
- ・関 崇博 「門鉄デフ物語」（ネコ・パブリッシング）
- ・奈良崎 博保 「九州を走った汽車・電車」（JTB パブリッシング）
- ・宇都宮 照信 「食堂車乗務員物語」（交通新聞社）

■ 定期刊行物部門

- ・大熊 孝夫 「雪国を駆けぬける「スノーラビット」」
（交友社『鉄道ファン』2009年5月号掲載）

■ 特別部門

- ・「日本鉄道旅行地図帳の刊行」に対して（新潮社）

第4回（2011年）選定

■ 単行本部門

- ・小林 正義 「国鉄EF13形」ネコ・パブリッシング（2010）
- ・安保 彰夫 「出石鉄道」ネコ・パブリッシング（2010）
- ・大田 治彦 「西鉄電車おもいでアルバム」樺歌書房（2010）

■ 定期刊行物部門

- ・初澤 毅 「緩衝式車止めの形態と分類」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2010年7月号～9月号掲載）
- ・堀岡健司 「鉄道の掲示と行先標の変遷」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2010年10月号掲載）

■ 特別部門

- ・「京阪電鉄百周年に関する著作物」の企画に対して（京阪電気鉄道）

第5回（2012年）選定

■単行本部門（2作品）

- ・白土 貞夫「銚子電気鉄道」ネコ・パブリッシング（2011）
- ・三橋 克己、葛 英一、藤本 邦彦「オハ71形の一族」車両史編さん会（2011）

■定期刊行物部門（1作品）

- ・渡利 正彦「岐阜地区の進駐軍輸送の実態を探る」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2011年5月号／6月号掲載）

■特別部門（2作品）

- ・「機関車表DVD版の制作」（沖田 祐作）に対して
- ・「貨車に関する一連の著作」（吉岡 心平）に対して

第6回（2013年）選定

■単行本部門（4件） ※発行日順

- ・辻村 功「鉄道メカニズム探究」JTBパブリッシング（2012）
- ・鉄道友の会客車気動車研究会「日本の食堂車」ネコ・パブリッシング（2012）
- ・小関 和弘「鉄道の文学誌」日本経済評論社（2012）
- ・鉄道の「知」を探る編集委員会「鉄道の「知」を探る」山川出版社（2012）

■定期刊行物部門（1件）

- ・澤内 一晃、星 良助「北海道の私鉄車両」（鉄道友の会『RAILFAN』2007年8月号～2012年6月号掲載）

■特別部門（1件）

- ・「機関車史研究会の一連の著作」（近藤 一郎）に対して

第7回（2014年）選定

■ 単行本部門（2件） ※発行日順

- ・浦田 慎（監修・貨物鉄道博物館）「貨車車票の歴史」（2013）
- ・服部 重敬「名古屋市電」ネコ・パブリッシング（2013）

■ 定期刊行物部門（2件） ※発行日順

- ・斎藤 幹雄「ミャンマーへ行った日本型気動車 2013」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2013年5月号掲載）
- ・北村 拓「西武鉄道の旧型国電研究」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2013年12月増刊号掲載）

■ 特別部門（1件）

- ・「車両側面のイラストによる一連の著作」（片野 正巳）に対して